



・房総半島 500K の旅

夫婦・嫁・孫と一泊二日で房総半島をレンタカーで一周した。息子夫婦の住む埼玉南浦和から霞ヶ浦を通り水郷潮来で盛りの菖蒲園を散策。霞ヶ浦は海の如くビックリ。関東の東端の犬吠崎では当地自慢の海産物に舌鼓。九十九里浜に沿って南下。太平洋の海は濃紺で波は高く荒く、砂浜は灰色。沖縄の波の柔らかさ、砂の白さ、海の色は格別だと思った。関東の最南端・野島崎で宿をとり、東京湾を眺めた。夕食時に小笠原沖震源の M8 巨大地震に遭遇、海の近くでもあり、生きた心地はしなかった。翌日は房総の最西端・須崎灯台に行き、北上。南房総の鋸山（のこぎりやま）に登り、日本最大の石仏を見た。8ヶ月 10 kg の孫を背負う通算 500 段以上の急峻な石段の上り下りはきつかった。疲れたけど心地よい嫁孝行の旅となった。【宜野座】



・寿クラブ会長の挨拶



平良保文氏 (D11)
これまで、会長 6 年、副会長 4 年、通算 10 年勤めてこころで、一休みを考えていましたが、今度は、先輩諸氏から要請があり、寿クラブ会長を引き受けることになりました。当自治会は世代交代を迎え、少子高齢化が加速しています。10 年後には 65 歳以上の 4 人 1 人が痴呆症になると言われている日本、それ以上のことがこの自治会では起こる可能性があります。会員がこのことを認識して、明るく楽しく健康長寿の生活ができるよう考えていきましょう。二世帯住宅も増え、子や孫が住みよい未来永劫に発展する地域にすべく頑張っていきます。皆さんのご協力と宜しくお願い致します。まずは、寿会へ会員登録を・・・

行政区住民登録人口（5月末）

世帯数 669 総人口 1808
自治会加入 406 加入率 61%

定期清掃（第3日曜日） リサイクル活動（同上）

//// 6月行事 ////
7日 かりゆしセンター
「10周年記念式典」
美ら町通り隊活動日
11日 寿クラブピクニック
12日 愛の声かけ運動
14日 自治会対抗 G ゴルフ
16日 8自治会対抗 G ゴルフ
20日 青年会・初興し
26日 ふれあいサロン
「料理教室」
27日 寿 Jr.「東御廻り」
28日 評議員会

・評議員会 第1回評議員・拡大委員会 24日(日)

関係機関長も含め全員集合で懇親会も実施し、向う一年の活動計画を確認するとともに一致協力を誓いました。
評議員長：仲原 勇 副委員長：大浦 敏男
前列左から平良昇、阿波根昌義、友利正吉、仲原勇、宮国恵作、宜野座富夫（自治会長） 後列左から松田道子、西島本賢、亀川博薫、高良政幸、浜川正志、大浦敏男、小椋隆（自治会副会長）平識善貞 宜しくお願い致します。



・寿ジュニア(寿 Jr.)パークゴルフ大会 18日(月)

Jr.初の行事となりましたが、CSW 含め 30 名が参加して盛り上がりました。当日は天気にも恵まれ爽やかな海風の中で心身ともにリフレッシュできました。結果は優勝：男子：高良茂光 (F45) 女子：中村美恵子 (F38) でした。



・放課後子ども教室開始 集え浦西っ子

前年度同様、浦添市放課後子ども教室推進事業に今年度も申請し承認がおりました。琉舞教室と学習支援教室の2教室を計画しております。琉舞教室は6月4日(木)から開始致しました。会員の「真境名昭琉舞道場」主宰の伊礼昭先生に今年度も引き受けて頂きました。まだ、募集継続中です。以下の内容となっています。



毎週木曜日
午後4時半～5時半
無料です

・寿ジュニア(寿 Jr.)第二弾行事

沖縄の始祖の聖地巡礼「東御廻り/あがりうまーい」
今回は、霊場 14ヶ所の内、斎場御嶽を始めとして8ヶ所を訪ね神々と琉球王朝のロマンを体感致します。会員で楽しいひと時を過ごしましょう！
期日 6月27日(土) 9時 浦西公民館
費用 2,000円(昼食代含む)
講師 新城 啓八氏(南城市ガイド・玉城文化財ガイド友の会会長・アマミ浪漫の会顧問)
申込 公民館事務所まで問合せ下さい
その他 寿 Jr.会員を優先します。



・ふれあいサロン開級式 8日(金) 推進員 24名

諸見敏子代表による今年度の活動計画の発表から始まり、推進員の自己紹介が行われました。その後、元浦西中学校で校長を勤めた糸数剛さん、奥様による指導で懐かしい歌の数々を声高らかに気持ちよく歌いました。この一年のサロンの活躍に期待します！



・老人会大会 28日(木)

市内 26 団体によるアトラクションの中で浦西・寿クラブは 13 名による「三村おどり」を踊りました。92歳の松田キヨさんを筆頭に息の合った踊りに拍手は鳴りやみませんでした。浦添市の中で一番元気な団体と言われる「老人会」？の中にあっても、我が寿会には元気印の上位です。その他の団体も負けておらず、いろいろな踊りが披露され、高齢者パワーを炸裂させていました。頼もしい先輩方は我々の我身近な良い手本です！



・『ネパール便り 世界の秘境・ヒマール〜』 E-53 坂本氏

浦西団地の皆さん・・・ナマスカール
前回に続き、グルン族の住む Tangting 村での出来事を紹介します。グルン族はネパールに住む多くの民族の中でも最も勇敢な民族と言われています。成人になると、インドやイギリスの軍隊、マレーシアの警察官に職を得る人が数多くいます。しかも、長年外国で生活して功を成し遂げ、そのまま外国で住む傾向が強いようです。

そのグルン族、国内では他の民族が敬遠する危険な仕事を行い、貴重な収入源にしているのが「ヒマラヤのハチミツ」です。ヒマラヤの蜂蜜は世界でも最も値段の高い蜂蜜と言われています。ヒマラヤ山脈の 2000m 付近に生息している「ヒマラヤオオミツバチ」の蜜で、日本のミツバチより大きく、活動的だそうです。その巣は、野生の動物に侵されないように断崖絶壁に作る習性があり、その蜜を捕ることは容易ではありません。

私が宿泊した家主さんはその蜂蜜を採って生計を立てており、貴重な蜂蜜採りに同行することができました。蜜採りの準備は前日から行われています。竹皮で出来た縄のハシゴを点検し、安全であることを確認します。また、軽くて長い竹竿も準備していました。

当日はグループのメンバーは7人で、早朝に出発しました。事前に巣の場所を確認していましたので1時間ほどで現場に着きました。途中で川水に竹皮での縄で出来たハシゴを浸し、強度を強くしていました。現場に着くと、崖の上と下の二組に別れます。一組は崖の上からロープを降ろし、下では降ろされたロープに竹皮縄で出来たハシゴを結び、再び、ロープを引きながらハシゴを上げます。

岩壁に沿って長いハシゴが設置され、1人の蜂蜜ハンターが巣のところまで登ります(写真1)。その時に他のメンバーは崖の下で火をもち、その煙でミツバチを追い払います。しかし、ミツバチも必死にハンターに攻撃します。巣を採り始めるとミツバチは攻撃を諦め、おとなしくなりました。巣の下に大きなかごを置き、竹の先に取り付けた巣を切り裂く道具で巣を岩から切り取ります。

この時期(3月頃)の蜂蜜は野生ランやシャクナゲなどの蜜が多く含まれ、濃厚な味で純度が高く、薬効成分も高いといわれています(写真2)。採った蜂蜜を現場で食べましたが、一度に食べる量が多かったのか喉をやられました。一度に多く食べてはいけないうことです。
*蜂蜜採りは動画で見ることが出来ます



・リサイクル収益金

5月末実績
54,662円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。*アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。



・道路補修 団地北側の高速駐車場に隣接する坂田に抜ける坂道。これまで、年中、歩道に湧水が流れ込み、ぬかるみとなって滑りやすく危険な状態でした。5月末、市道路課により補修工事が行われ改善されました。どうぞ、ご確認ください！

